

今の日本では、「女だから…、男だから…」と言われることが昔と比べてみて少しずつ減ってきていると思う。「女は家庭、男は仕事」という言葉を聞いたことがある。でも、それは昔あったイメージが今でも続いているだけだと思う。これは性別によつての差別であつて区別ではない。時には、人を区別しない時があるから、差別と区別の違いを知る必要があると思う。

最近では、女性の消防士や警察官もいる。男性の保育士もいる。そして周りからはこのことを「珍しい」と言われたことがある。

「女性だから…、男性だから…」というイメージだけで仕事や役割を決めつけられてしまい、男女差別が生まれてしまうことを私は気づきました。子供の授業参観に行くのは、勝手に女性というイメージがあり、男性が行きづらくなつているのかもしれない。そこでもう、男女に壁ができてしまつていて男女差別になつてしまう。私は男性も気軽に行けるような雰囲気が増えていってほしい。

体力テストでは、男女の点数の配点が違う。このことについて男子は、「不平等だ」「男女差別じゃん」など、言つているのを聞いたことがある。でもこれは差別ではなくて、区別になると思う。男子と女子では体力や体格が違つてくる。なのでこれは区別であり、差別ではないと考えた。

男女差別をなくしていくためには、「差別」と「区別」の違いをお互いに理解していくことが大切だ。これから、男女ともに「差別」と「区別」に関心を持つていき差別を少しずつなくしていこう。性別に関係なく、一人ひとりの人間がいきいきと暮らせるようになっていきたい。